



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

朝日新聞の記事「薬物は犯罪ですか」
(2019年12月13日)に関する情報提供書

警視庁

組織犯罪対策5課 御中

令和元年12月24日

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会

代表 多田 雅史



代 表

多田 雅史



「患者・行政・医療者の三者の協力」
を表しています

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
(Benzodiazepine YAKUGAI Association : BYA)

HP <https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>
〒461-0001
愛知県名古屋市中区東1-1-35
ハイエスト久屋5F 柴田・羽賀法律事務所
事務所TEL: 052-953-6011、多田携帯: 080-1566-3428
E-mail crosstada@fuga.ocn.ne.jp

BYA-HP: <https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当会は、2017年11月に設立され、すでに200名余の会員がいるベンゾジアゼピン系薬物（向精神薬）の副作用による被害者の会です。今回、当会は、朝日新聞社の2019年2月13日の記事「薬物は罪ですか」における国立精神・神経医療研究センター（NCNP）の薬物依存研究部長の松本俊彦医師他の記事に対して（資料1）、極めて遺憾であり、朝日新聞社に対して、別紙の抗議書を送付しました。

その中において、NCNP 松本俊彦医師に関して、同医師は、すでに診療中に違法薬物依存者が現れても、法律に基づく通報を行わない旨を宣言し実行しており、現行の刑法等の法律に違反していることが明らかになっています（資料2）。また、同医師が、「違法薬物の非犯罪化」を提唱している目的は、患者の治療や支援以外に、別の目的があると当会は推定しています。別の目的は、朝日新聞社への抗議文の3項に記載しましたが、その他にも、松本医師自身の近辺の違法薬物使用者の隠蔽なども目的としていると推定しています

よって、当会は、警視庁に対し捜査に関連する情報を提供するものです。

敬具